

議会だより



涼しさと呼ぶ夏の水の中植物の代表 蓮の花
花言葉は「清らかな心」「神聖」
高浜町中寄 蠶の里にて

contents

- ◇議長・副議長あいさつ／新人議員紹介 …… P2
- ◇トピックス「中央体育館改築(建替)に伴う冷暖房設置について」… P3
- ◇採決一覧表／質疑・討論 …… P4
- ◇一般質問 …… P5～8
- ◇各委員会報告 …… P9～13
- ◇視察報告 …… P14
- ◇議会構成表 …… P15
- ◇蠶の里くらぶ／編集後記 … P16

議長就任のご挨拶



議長
横田 則孝

この春に行われました、統一地方選挙により、4名の新人議員が加わり新たな体制となりました。議会が果たすべき役割はこれまで以上に重く、責任のあるものと考えております。

また、5月に行われました臨時議会におきまして、議員各位のご支援により議長に就任させていただくことになりました。まさに身の引き締まる思いであります。

加えて、この度、福井県町村議会議長の会長も仰せつかりました。福井県の町村議長の代表として、誠心誠意臨みたいと思っております。

今、高浜町におきましては、高浜発電所3・4号機の再稼働の問題や避難道路の整備、人口減少問題など多くの課題が山積しております。

議会といたしましても、町民の皆様にご信頼される議会になるよう、議員各位と共に協力しながら、開かれた議会を目指してまいります。

副議長就任のご挨拶



副議長
上尾 徳郎

4月の改選に伴い5月臨時議会に於きまして、副議長に就任致しました。

地方創生のもとでの人口減少対策、また、介護保険や子育て支援など、制度改正によって地方自治体の責任と役割が重要となり、地域間格差も生まれようとしています。

高浜町でも、高浜発電所再稼働やコンパクトシティ構想による庁舎公民館をはじめ、各種事業に取り組む中で様々な課題があり、その対応・施策が町の将来にとって重要な節目の時期となっております。

町民の付託を受けた私達議員の職責は重く、政策のチェック機能の強化や政策提言も含めた闊達な議論と情報公開に努め、町民の皆様にご信頼される議会「開かれた議会」を目指して、議長を補佐し支えながら議員の皆さんと共に取り組んでまいります。

皆様の叱咤激励をお願い致しまして、ご挨拶と致します。

新人議員紹介

児玉 千明



高浜町の「御用聞き」でありたいと思っています。町民の皆様の「なぜ」や「おかしい」を透明化し、ご意見を町政に届けられるよう一生懸命頑張ります。気軽にお声かけ下さい！ よろしく申し上げます。

井上 順也



高浜町の未来を明るく、大きく開くために、皆さまのお声を大事にし、頑張ります。 よろしくお願い致します。

西野 朋宏



町政へとあげていただき、大変ありがとうございます。官民一体となって問題に取り組む次第であります。心構えと覚悟をもって実践致します。

釣本 音次



弱者に寄り添い、悪くむべきは退け、高浜町を良くする様、尽力していきますので宜しく申し上げます。

時代に適応した新体育館を！



中央体育館改築（建替）に伴う冷暖房設置について


■ 議論の経緯

- ・ 5月25日全員協議会において、理事者側より平成27年度高浜町一般会計補正予算の事前説明があり、その中で、はじめて中央体育館の改築（建替）工事の概要について説明を受けた。その中でアリーナの冷暖房については、設置コストと他の市町での使用頻度が低い事から、今回の改築では設置しないとの説明があった。議員側からは、冷暖房の必要性について、関係者の意見を聞いた上での判断か、時代に適応した判断かとの質問を投げかけたが、明確な回答がなかった。
- ・ 6月4日一般質問において、山本議員より「なぜ中央体育館実施設計に冷暖房設置を削除したのか」との質問を行われ（P4・7参照）、町長より再検討の時間を設けるとの回答があった。
- ・ 6月8日予算決算常任委員会において、改めて中央体育館改築に伴う冷暖房設置について議論を行った。理事者側からは、再度設置しないとの説明があった。議員側からは、

- ①なぜ今、中央体育館の建て替えが必要なのか。
- ②町民の皆さまの意見を十分聞いていないのではないのか。
- ③防災面等設置後の有効活用が図れるのではないのか。
- ④熱中症対策、健康寿命増進に活用できるのではないのか。
- ⑤設置コストが高すぎるのではないのか。

等問いただし、冷暖房設置については7月の全員協議会で結論を出すことになった。

- ・ 6月16日定例会最終日において、理事者側の冷暖房設置の検討時間を頂きたいとの回答を確認し、一般会計補正予算の可決を行った。
- ・ 6月17日当町の規模より大きい舞鶴市文化公園体育館に冷暖房設備を設置したとの情報を得たことから、当該体育館の視察を行なった。設置理由、工事費、維持費、使用料等を担当者に聞いた上で、冷暖房設備の状況を見学した。その結果、当町の設計費用は削減できること及び施設の多目的利用で、交流人口の増加を考えている事など冷暖房設備の有効性を、確認することができた。

■ 今後について

議会としては、建替を行なう中央体育館に、時代に適応した冷暖房設備を設置することにより、町民の皆さまの利便性が大きく向上すると共に、充実した機能を内外に発信することにより、高浜町のイメージアップに大きく貢献し、交流人口の増加につながる。また、多目的に有効利用することにより、コストに見合う、価値ある新体育館となると判断します。

今後は、7月中の理事者側の回答を確認し、広く町民の皆さまに結果をご報告します。

■ 舞鶴市文化公園体育館


LPガス供給設備



冷暖房吹き出し口

文責／井上 順也

6月定例会では 以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審査した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第43号	平成27年度高浜町一般会計補正予算(第1号)について	予算決算	全員賛成で可決	P3・4・9
議案第44号	高浜町有バス購入契約について	総務産業	全員賛成で可決	P10
議案第45号	清掃センター施設点検修繕工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P10
議案第46号	中央体育施設擁壁改修工事請負契約について	厚生文教	全員賛成で可決	P10
議案第47号	嶺南広域行政組合規約の変更について	総務産業	全員賛成で可決	P10
同意第2号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	同意	—
請願第3号	「非核平和都市宣言」採択についての請願	総務産業	賛成者少数で不採択	P10

- 予算案件・・・1議案 ●契約案件・・・3議案 ●その他案件・・・1議案
●人事案件・・・1議案 ●請願・・・1議案 合計7議案(5議案可決、1議案同意、1議案不採択)

本会議での質疑・討論

質疑 議案第43号

栗野明雄議員

中央体育館整備事業であるが、エアコンがついていない計画になっている。これまで行政のすることは中途半端なことが多い。一つ一つするべき事は確実にするべきである。道徳教育が導入されるが、道徳は重要である。説明を願う。

教育委員会事務局長

エアコンは後付けでもできる。風の流れをうまく取り込み、自然換気でいきたい。道徳教育は小学校4年生を対象に保護者・地域参加型で、「思いやり・親切」を主眼に行いたい。

討論 請願第3号

賛成討論 渡邊 孝議員

世界には9カ国の核保有国がある。全部で1万7000発の原爆がある。一日も早く原爆をなくしたい。この運動は反原発も取り入れているが、主流は核の廃絶である。

討論 議案第43号

賛成討論 山本富夫議員

中央体育館のエアコン設置は、維持費とか設備費が今回の争点になったが、現代の体育館はエアコンがついているのが常識である。費用が5億円かかると言うことであつたが、舞鶴市では、もっと大きな体育館が、エアコン設置に1億円もかかっていない。防災の拠点としての機能も必要になってくる。前向きにやるべきである。

賛成討論 上尾徳郎議員

高齢者生活支援商品券支給事業は、町内の経済対策を含んだ事業であるが、一時的対策でなく将来に向けてできるところからしっかりと取り組んで頂きたい。中央体育館整備事業は、町民や各種団体と十分に協議するように申し入れてきたが、協議されていない。体育協会などと協議して、基本設計の見直しを図ることを確認して賛成とする。



役場跡地の利用は

答弁 住民の意見を参考にする

栗野 明雄 議員

【栗野】

高浜町で一番人口が減少しているのが、高浜地区の中心部である。役場やJAが国道筋へ移転をすれば人の流れが変わり、寂れた中心地となる。跡地利用については、子ども遊び場など子育てに関するものかどうか。

【副町長】

高浜町の将来にとって大変重要な課題のひとつである。周辺地区の方と意見交換も行った。皆さんの提案やご意見を参考に、具体案を示したい。また、子生川浄化施設の撤去手続きも進めている。

◆青葉山希少植物保全条例の制定
としてはどうか

【栗野】

青葉山にはオオキンレイカなど多くの植物が自生している日本にとっても貴重な山である。



しっかりと次世代に伝える責任がある。条例を作り守るべきである。

【教育長】

青葉山には国のレッドデータブックに指定されているものが16種と多く、保全活動が必要。オオキンレイカは、絶滅危惧I種B類に指定されており貴重な種である。指摘の保護条例は、福井県では整備されていない。小さな市町村では独自の整備はないのが現状である。早急に県に要求し、整備をしたい。

◆災害時のボランティアの受け入れ体制は

【栗野】

災害は突然やってくる。その時ボランティアの方が来て頂けると思いますが、受け入れ体制は。

【福祉課長】

ボランティアの受け入れ窓口は、社会福祉協議会である。スタッフの体制表やマニュアルはできていない。調整の上体制を整えたい。



高齢者福祉と健康長寿への取り組みは

答弁 健康をテーマとしたまちづくりを着実に進める

上尾 徳郎 議員

【上尾】

今回の介護保険料の大幅値上げの要因と今期の高齢者福祉・介護保険事業計画の重点課題と取り組みは。

【福祉課長】

保険料値上げの最大要因は、介護サービス費の増大、前期の介護給付費準備基金を全額取り崩した保険料抑制であり、今期は県平均額に許容範囲内で概ね近づいた。

重点取り組みは「地域包括ケアの推進」「認知症対策」である。福祉の取り組みは「人」であり、必要な人員の確保と個人のスキルアップにより、超高齢化社会に対応するために出来ることから取り組み、体制を整えていく。

【上尾】

健康保持と予防を促進するため「健康長寿ポイント制度」「健康維持者の報奨制度」や事業者・ケアマネに対して、介護度改善への「成功報酬制度」の検討は。

【福祉課長】

「ポイント制度」は一定の効果は期待できるが、事務量が多くなり費用対効果の検討が必要。「報奨制度」は保険利用のデータ取得方法や未利用期間と報奨時の時差。また、対象者が多数となる為に継続的な実施は難しい。

「成功報酬制度」は介護度改善の要因が家族の関わりなど、複合的な面もあり評価は難しい。

◆役場機構再編と事業推進体制
【副町長】
役場機構再編の進捗状況は。

4月の人事異動は機構改革を念頭に置いたものである。「1次産業から3次産業までを包括的に所管する部署」「福祉・保健・地域医療等を一体として推進する部署」「政策の総合調整を担う部署」を設ける方針で現在、検討を進め詳細を詰めている段階である。平成28年1月に機構改革を行いたい。



嶺南広域連合設立に向けた

今後の取組みを問う

答弁 行政の広域化を進め財政の効率化を図る

小幡 憲仁 議員

活用して介護予防に取り組むべき。

【福祉課長】

嶺南広域連合設立が協議されている。これからは人口規模に見合った社会資本整備や住民サービス提供の体制を広域化し効率化することが必要。嶺南広域連合ではこうしたスケールメリットが期待できる内容に取り組むべき。

【町長】

新たな広域行政組織を立ち上げることは重要。今年度は連携を図ることを構築する。一般廃棄物処理、斎苑、不燃物処分、ゴミリサイクル等の事業はスケールメリットで財政効率化が期待される。広域のメリットを最大限発揮できる組織の構築に取り組む。

◆介護予防実施に向けた取組

【小幡】

介護予防事業が市町村へ移行する。今後、高齢者もサービスの担い手として社会的役割を担うことで介護予防につながることも期待される。高浜町として地域資源を



「ふるさと納税」のその後の対応は

答弁 寄付金の使い道に工夫を凝らすことにより他市町と差別化を図りたい

大塚 ひとみ 議員

礼品とする仕組みを作り、次年度には複数の課や関係機関・団体と連携を図り、プロジェクト応援型の仕組みをスタートさせたい。

【大塚】

昨年3月議会一般質問で「ふるさと納税」に積極的に取り組むよう要望したが、その後どのように捉え、どのような対応をされてきたのか。町の26年度の寄付金額県内ランキングは。

一方、全国規模で見ると平成26年度は約142億円で導入時から2倍増、また制度そのものも27年度から拡充された。福井県は過去最高の寄付金(1926件、1億244万1千円)が集まったと発表し、小浜市や敦賀市は地域間競争に知恵を出し、工夫を凝らし頑張っているが、どう見ているか。

【総務課長】

広報活動の強化策として、ホームページを見やすくし、多くの方に関覧してもらえようとした。

また年末年始の帰省に合わせたPR活動も行った。平成26年度収納額は7件、約13万5千円で県内16位。本年度内に定型的な特産品を返

◆高浜原発3・4号機再稼働への道筋について

【大塚】

3月定例会で議会として再稼働に同意することを町長に表明したが、その後の福井地裁の仮処分決定等、今後の審理判断が注目される中、議会構成も新しくなり改めて町長の描く再稼働の道筋を問う。

【町長】

同意条件としてあげた4点のうち、安全審査の内容確認、町議会の同意、防災やエネルギー計画について国と住民との意見交換会の3つはクリアした。4つ目の広域避難計画は調整課題が残っているが、条件が揃った段階で国に向き確認し、最終判断を責任を持って行いたい。



なぜ中央体育館実施設計に 冷暖房設置を削除したのか

答弁 設置費とランニングコスト増で断念した

山本 富夫 議員

◆中央体育館改築実施設計について 【山本】

中央体育館改築実施設計業務委託料4494万円が示された。新規体育館は、体育競技種目にだけにとらわれずイベント、防災避難等の多目的使用が望まれる。事前のスポーツ審議会等の民意が反映されていないし、今回の設計にアーリーナの冷暖房設備が削除されたが設置に向けた改善を強く求め町長の決断を要求する。

【教育委員会事務局長】
体育館新築や改築時には、どの市町においても、建設コストへの影響が大きくなるため、冷暖房機能を備え付けるかどうか、大きな決断を迫られる事項であった。本件の冷暖房機能については、基本設計の検討の中で、設置した場合についても視野に入れながら熟慮、検討を重ねたが、冷暖房機能の設置は見合わせることにした。

中央球場を含めた計画もあり、

それらの計画変更も含め体育館の冷暖房設置については、7月に再検討の時間を設けるので理解を賜りたい。



◆外国人観光客受入れ体制について 【山本】

円安効果により多くの外国人観光客が日本を訪れている。高浜町も受け入れ態勢を検討すべきでないか。さらにSNSを利用した情報インフラも構築すべきでないか。

【まちづくり課長】

高浜町では、定番の観光地や都市に近いことを活かし、海・山・里といった高浜町の素材を魅力的なものにしていく必要があり広域連合で受け入れ検討する。

観光事業の充実について

答弁 しっかりと広報し、理解を頂きながら進めていく

井上 順也 議員



【井上】

町内観光客入込状況と結果に対する対応状況は。ブルーフラッグ認証制度の取り組み状況は。観光事業の各課の連携状況は。

【町長】

ブルーフラッグについては、考えを改め、町の大きなイメージアツプにつながるこの制度をとるために、しっかりと広報し、理解を頂きながら進めていく。



【まちづくり課長】

平成26年の海水浴客数は16万人と15年前と比較し4分の1と減少している。遊び、教育、食、宿泊を売りにした体験型観光地としていく。ブルーフラッグについては、特に皆さまに、負担をおかけすることなく、官民が一丸となって推進していく。各課の連携については、地元事業だけにしない。交流人口の拡大を図っていく。

◆持続可能な社会の推進について 【井上】

電気料金低減が可能な外灯のLED化を推進できないか。

【防災安全課長】

故障に合わせて、随時LED化していく。

◆地方創生事業について 【井上】

地方創生事業の取り組み状況は。旧塩屋の活用、整備状況は。

【政策推進室長】

当町の人口は、2040年には7032人と推定。人口減少対策本部を設置し、27年度中に独自のビジョンと戦略策定を進める。

【建設整備課長】

旧塩屋の関係団体と連携し、改修を順次進めていく。

◆土砂災害防止法の改正について 【井上】

当町の取り組み状況は。

【防災安全課長】

早めの避難を進めるために情報伝達に全力をあげる。



国民健康保険について

渡邊 孝 議員

【渡邊】

国民健康保険の財政運営の主体が、2018年度から都道府県に移管される法律が成立した。このなかで、保険税の軽減を目的とした公費が支援されることになった。高浜町国民健康保険にはどの程度の支援金が見込まれるのか。また、支援金は全額保険税で減額に充てるべきと考えるがどうか。

【住民課長】

現時点ではどれくらいの額が高浜町に支援されるか分からない。また、国保会計が赤字のなか、投入された公費で保険税の減額はできない。

◆高浜原発3、4号機再稼働について

【渡邊】

高浜原発3、4号機を再稼働すれば使用済みMOX燃料も出る。これらは現状では搬出先はない。この問題も再稼働「同意」の条件とすべきではないか。

【町長】

使用済み燃料は、再処理及び県外の間貯蔵施設へ搬出されることを今後も国、事業者へ要請していく。プルサーマル運転も新規規制基準で審査されていると認識している。

◆高等学校等生徒通学費助成制度について

【渡邊】

この制度は「公共料金を滞納していないこと」が条件だが、滞納額を分割払いしているも対象者から外すのはあまりに機械的で、制度的に反しないか。

【教育委員会事務局長】

それぞれの滞納状況に合わせてケース毎に判定するのは非常に困難である。



陸上アワビ養殖について

答弁 難問が多い

釣本 音次 議員

【釣本】

漁業の六次産業化について。

【まちづくり課長】

漁業者の収益改善、イベント事業や飲食事業を展開する。

【釣本】

アワビ養殖の現状について。

【まちづくり課長】

養殖用水設備、保温設備の初期費用、電気代の運用費、エサとなる海藻の不足等難しい問題が多い。

【釣本】

小規模で試験的にやってはどうか。

【まちづくり課長】

養殖の担い手不足、種苗の育成の難しさがある。他の養殖で収益をあげてからやってはどうか。

【釣本】

高付加価値のアワビ養殖をやるべきで、難しいといつて諦めるべきでない。挑戦すべきである。

【釣本】

民宿、旅館の活性化策について。

【まちづくり課長】

民宿マップを発行し、自然志向の家族や熟年層をターゲットにやっていきたい。

【釣本】

職員の人材育成の現状について。

【総務課長】

職場外研修として近畿経済局へ派遣。技能職では、オンザジョブトレーニング、現場打合せ等で技術を習得している。

【釣本】

安土山の展望台の景観を実際に見てきたが、冬には枯れるものが多い。仮足場を立てて展望台を高くすれば解決できると思うがどうか。

【まちづくり課長】

下草だけでなく木の伐採もやり住民と相談して、必要なら考える。

予算決算常任委員会

委員長 栗野 明雄

◇6月8日(月)午前9時より

●議案第43号

■高浜町一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出は、2億7771万円を追加し、予算総額を114億8263万3千円とするものである。

【審議の概要】

◆民生費

高齢者生活支援商品券支援事業で、引換券を送り商品券に変えるところがあるが、直接商品券を送ったかどうか。

希望を確認し、押しつけにならないように丁寧に行いたいとの答弁があった。

65才以上に一律に配布することには、一番資産が多い世代に対しては疑問が生ずる。

税務課の個人情報をもとに勝手に使うことは法律で禁じられているとの答弁があった。



◆商工費

観光振興事業では城山公園園進入路に関する進捗状況の確認がなされた。

れた。



城山公園入口完成図

◆消費費

自主防災組織の立ち上げはスピード感を持って進めたいとの答弁があった。その備品となる除雪機は、今から発注しないと間に合わないとの答弁であった。



除雪機

◆教育費

親子で学ぶ道徳講座補助金では、対象者は小学校4年生であることが確認され、学校給食では米飯が主になっていること、法務省の作文応募依頼にも対応していくとの答弁があった。

小学校情報教育環境整備事業では、

・タブレットの契約方法について、そんなに良いものがあるのか。

・スマホ世代では、パソコンが使えない人が増えている。

との指摘がされた。



中央体育館改築実施設計業務委託では、

・エアコンを付けない計画であることから、エアコンは絶対必要である。関係団体の意見を聞いていない。

・サイクル交付金を充てているため、予算ありきで進めていないか。

・エアコンに5億円も掛けることには反対である。

・災害時の避難所としての機能も必要なのでエアコンは必要である。

・舞鶴市の体育館は、後付けである

が、約1億円で設置されている、5億円の根拠を示せ。

など多くの意見が出された。



中央体育館完成予想図

6月議会で結論を出さねばいけないのか。9月議会の補正予算で対応することができるのか。

7月中旬に結論が出れば間に合うとの答弁があり、7月の全員協議会でエアコンの結論を出すことになった。それまでに舞鶴市体育館などの調査を含め、議員も調査をすることとした。

【全員賛成で可決】

総務産業常任委員会

委員長 山本 富夫

◇6月9日(火)午前9時より

●議案第44号

■高浜町有バス購入契約について

現在使用している町有バスが導入後12年経過し車両の老朽化による修繕費の増加により、新規バス購入計画を締結。

委員からは、町内の各種団体等に貸出できるよう配慮出来ないかとの質疑があった。

理事者からは、町主催の行事で役員職員が同乗していることが必要で、白タク行為のような法に基づかない使用は不可との回答があった。使用についての規定を、各種団体に通知すべきとの意見も出された。

【全員賛成で可決】

●議案第47号

■嶺南広域行政組合規約の変更に

ついて

管理者の交代に伴う組合運営を円滑かつ効率的に行う規約変更。

【全員賛成で可決】

●請願第3号

■「非核平和都市宣言」採択について

この請願には、原発の核も含まれていると紹介議員の説明があった。

【賛成者なしで不採択】

総務産業常任委員会

視察報告

●汐入1号雨水調整池

現在、湯谷区地係で工事が進められている汐入1号雨水調整池の工事進捗状況を確認した。予定通りの工程を確認した。



汐入1号雨水調整池 一般平面図

●健康長寿の里

本年度より進められている「健康長寿の里づくり(薬草)プロジェクト」について現地確認した。

厚生文教常任委員会

委員長 廣瀬とし子

◇6月10日(水)午前9時より

●議案第45号

■清掃センター施設点検修繕工事

請負契約について

【全員賛成で可決】

●議案第46号

■中央体育施設擁壁改修工事請負

契約について

【全員賛成で可決】



中央体育施設擁壁

■介護保険制度改正・

子育て支援制度について

福祉課長・保健課長出席のもと、取り組みについて説明を聞き、意見交換を行った。

●介護保険制度改正について

高齢化が進むと医療や介護を必要とする方が増加するが、現在の医療・介護サービスの提供体制のままでは十分対応できないと見込まれている。4月に介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)に入所できる方は、原則として要介護3以上の方が入所可能である。ただし、要介護1・2の方であっても、生活が困難な場合に入所を認められる。保険料は所得により9段階ある。

●子育て支援制度計画について

質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供・地域の子ども・子育て支援の充実・認定こども園制度の改善・幼保連携型認定こども園について、認可・指導監督の一本化、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけである。

◇6月12日(金)午前9時より

高浜町住民の避難先と主な経路



原子力防災について

説明者は、内閣府参事官杉本孝信氏。高浜地域の緊急時対応の状況を聞いた。

高浜地域における内閣府の取り組みは、26年12月に高浜地域分科

会を設置し、福井・滋賀・京都・関西広域連合などで、要支援者の避難の考え方・複数の避難ルートの設定・避難に必要なとなる車両の確保などの検討が行われている。避難については上図を参考にしてほしい。

内閣府からは、緊急時対応体制。連絡体制の確保、住民への国などの情報伝達体制、国の実働組織の広域支援体制、自然災害等により道路などが通行不能になった場合の対応、などの説明を受けた。

地域防災計画・避難計画の整備に「完璧」や「終わり」はなく、継続して充実強化に努めるとの説明があった。

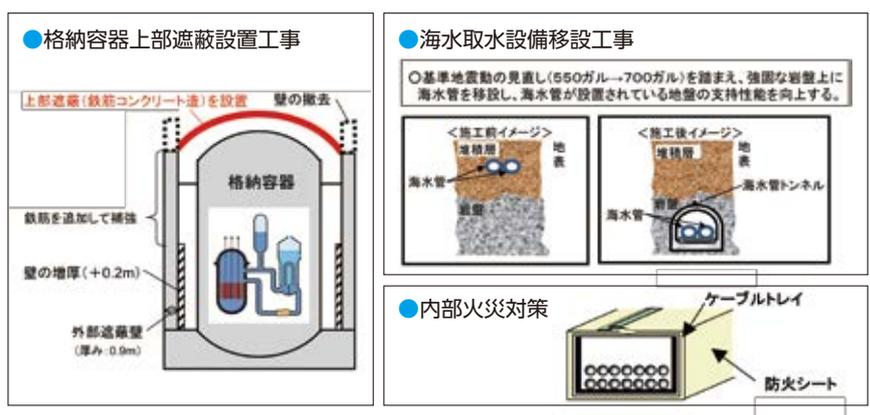
関西電力高浜発電所の現状報告

説明者は、大塚茂樹発電所長。

再稼働の状況では、規制基準の審査状況の説明を受け、ハード面の安全対策の現状を確認した。また、裁判における関西電力の主張を聞き裁判所との認識の違いを確認した。

1・2号の40年越えの運転延長では、内部火災対策で、ケーブルトレイの防火対策・上空への放射線防護で、格納容器上部遮蔽設置工事・基準地震動の見直しにとも

ない海水管を岩盤の中へ移設する、海水取水設備移設工事などの工事が必要である。



米国では、60年を超える運転期間について規制側が、事業者側の意見を聞き検討を進めている。フランスでは、運転期間はなく、10年ごとの安全レビューが行われているとのことであった。

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

◇6月11日(木)午後1時30分より

平成27年4月の改選後、引き続き鳥獣害対策特別委員会が設置され、今後の委員会を開催していくにあたり、町内4地区の区長会長、農家組合長、猟友会、J A、嶺南振興局の担当課らが集まり意見交換を行った。

まちづくり課より平成27年度の鳥獣被害対策の予算、新規事業等の説明を受け出席者から、高浜町の有害鳥獣捕獲隊の体制強化と、連携について質問があり、第一種銃猟の免許所持者が少なく、わな免許所持者は町内の44名の方にお世話になり各地区を担当する銃所持者(実施隊)の方に止め刺しをお願いしている。今後も引き続き捕獲技術向上のため猟友会、農家組合を通じて講習会を実施し連携を図る。

サルの追い払いに支給している花火・爆竹は、なれてきて効果がない。町内で高野区の方が捕獲班を設立して花火、ゴムパチンコを

使用し一斉に追い払いを行うとともに、また捕獲技術向上の努力もされている。

猟友会からは、銃による追い払い対策の効果が上がらないのは、様々な規制があり苦労しているとの意見があった。

恒久柵設置は、サル侵入防止対策には効果がないが、イノシシ、シカの侵入防止には効果がある。しかし地元負担額12・5%が大きくな壁となっており負担金を少なくするため、財源は確保できないかとの質問があった。国の財源確保については数カ年の時間が必要であり、負担額も町で軽減出来るか検討している。このため新規事業での被害調査や協議会の立ち上げを急いでいる。また農家組合を通じて申請している獣害防止電気柵の補助率の見直しについても、年度初めにさかのぼって見直しを行っているとの回答があった。

人口減少問題対策調査特別委員会

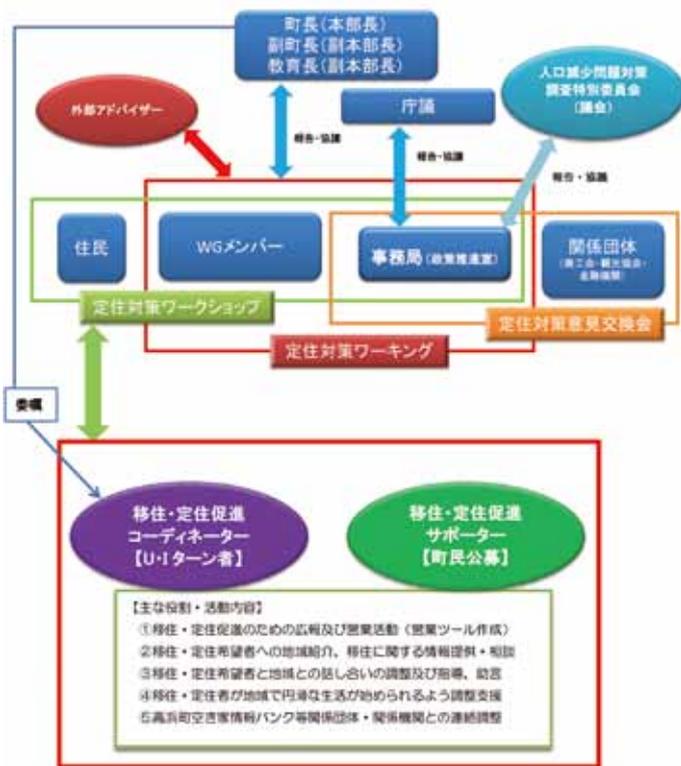
委員長 山本 富夫

◇6月11日(木)午前9時より

4月の高浜町議会改選に伴い、新たな議会構成となり当委員会が発足した。

人口減少問題は、高浜町に限ることなく日本全体の問題として対策が叫ばれている。国においては地方創生に重きを置いた予算配分

人口減少対策 全体組織図



がなされ高浜町も対策に向けて本腰を入れたスタートを切る運びと成った。
本委員会では、高浜町として今後の方向性についてヒアリングを行った。

■人口減少対策 全体組織

町長を本部長として副町長、教育長を副本部長に議会も外部組織として当委員会が参画。

委員会としては、高浜町の人口減少問題をテーマ別に調査することとし、当委員会を毎月開催して理事者側との連携を密にして対策の効果を図ることと一致した。

若狭消防組合議会

委員 廣瀬とし子

第169回

若狭消防組合議会定例会

◇2月18日から3月27日の38日間
若狭消防組合 松崎晃治管理者
より議案1件が上程。

【審議事項】

●議案第1号

■平成27年度若狭消防組合一般会
計予算

歳入歳出予算総額はそれぞれ1
億4887万5千円とする。

【全員賛成で可決】
主な事業として、消防救急無線



大飯分署



名田庄分署



上中分署



高浜分署

デジタル化整備事業として、各分
署庁舎整備(高浜分署、大飯分署、
名田庄分署、上中分署)。

嶺南広域行政組合議会

議員 栗野 明雄

◇3月27日(水)午前10時20分より

敦賀市立図書館3階議場

■第1回嶺南広域行政組合

議会定例会

●議案第1号

■平成26年度嶺南広域行政組合一
般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ595万5千
円を減額し、予算総額は歳入歳出
それぞれ10億4114万3千円と
なった。これは県からの核燃料税
交付金の確定によるものである。

【全員賛成で可決】

●議案第2号

■平成27年度嶺南広域行政組合一
般会計予算

予算の総額は歳入歳出それぞれ
9億6728万4千円である。

主なものは、企画費では嶺南地
域情報発信事業。小浜線利用促進
PR事業補助金ではラッピング車
両導入により、話題づくりをおこ
ない利用促進を図る。鉄道整備促
進費では、嶺南鉄道整備促進基金
積立金。地域振興促進費では若狭

●議案第3号

■嶺南広域行政組合職員定数条例
の一部改正

これは事務局職員を5名から6
名にするものである。

【全員賛成で可決】



ラッピング列車(富山県氷見市)

路市町連携イベント支援事業補助
金。
新しい事業としては、地域振興
促進費で「嶺南教師塾」(仮称)運営
支援事業などである。

【全員賛成で可決】

視察報告



6月24日～26日

日本原燃(株) 原子燃料サイクル施設
電源開発(株) 大間原子力発電所

青森県下北半島にある六ヶ所村の日本原燃(株)原子燃料サイクル施設と本州最北端のマグロの町大間の電源開発(株)大間原子力発電所を、他の公務で欠席の議長を除く議員全員で視察研修致しました。

■原子燃料サイクル施設

六ヶ所原燃PRセンターにて、前高浜発電所長で再処理工場の長谷副工場長にも同席して頂きサイクル事業の概要と現状について説明を受けた後、各施設を視察した。「原子燃料サイクル」は使用済み燃料のまだ使えるウランや生成されたプルトニウムを再処理して、繰り返し使う事でエネルギーの長期的に安定確保し、放射性廃棄物の徹底管理する設備をもってひとつの環(サイクル)とするものである。

サイクル事業として「ウラン濃縮工場」「低レベル放射性廃棄物埋設センター」「高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター」が操業し、「使

用済燃料受入れ貯蔵施設」「再処理工場」が試験運転中、「MOX燃料工場」は建設中である。再処理工場では新規制基準に対応した安全対策を実施、国際原子力機関の厳しい検査が行われている。徹底した安全管理のもとで進められるサイクル事業や研究開発が国民理解のもとで、推進される事が、原子力発電の将来を決めると思う。



■大間原子力発電所

「原子燃料サイクル」にとって重要な発電所である。ウラン燃料とMOX燃料を全炉心で用いる事が出来て、最終的には全てMOX燃料を利用するフルMOXを目指している。改良型沸騰水型軽水炉で、原子炉格納容器を原子炉建屋と一体構造の鉄筋コンクリート製とし、再循環ポンプを内蔵型に、制御棒駆動機構を多様化してフルMOXへ設備上の設計対応により安全性が確保される。

建設には最新の工法を取り入れている。冬場の厳しい自然環境の中でも工事が進められるように、建設建屋を覆い仮屋根をつけた「全天候型建設工法」。鋼板ブロックと設備を抱き合わせ組み立て可能とする「鋼板コンクリート構造」。機器・構造物をある程度組み立て(モジュール化)して、大型旋回クレーンで据え付ける「大型モジュール工法」を採用。

工事は、平成20年5月着工したが東日本震災で中断し、平成24年



10月に工事を再開したが進捗率は約40%である。新基準を踏まえて重大事故対策など安全対策の強化をはかり、取り掛かれるところから工事を進められているが、工事の停滞によって地元経済に大きな影を落としているようである。

文責／上尾徳郎

高浜町議会構成表

平成27年5月8日現在

議 長	横田 則孝	副議長	上尾 徳郎
------------	-------	------------	-------

■常任委員会

総務産業 7人 ・委員 長 山本 富夫 ・副委員 長 磯部 武史 ・委 員 児玉 千明・西野 朋宏 釣本 音次・大塚ひとみ 横田 則孝	厚生文教 7人 ・委員 長 廣瀬とし子 ・副委員 長 栗野 明雄 ・委 員 井上 順也・上尾 徳郎 井ノ元康夫・小幡 憲仁 渡邊 孝	予算決算 13人 ・委員 長 栗野 明雄 ・副委員 長 小幡 憲仁 ・委 員 議長を除く全員
---	--	--

■議会運営委員会 **6人**

・委員 長 井ノ元康夫 ・副委員 長 磯部 武史	・委 員 大塚ひとみ・廣瀬とし子・山本 富夫・渡邊 孝
-----------------------------	--------------------------------

■特別委員会

原子力対策 13人 ・委員 長 栗野 明雄 ・副委員 長 廣瀬とし子 ・委 員 議長を除く全員	鳥獣害対策 7人 ・委員 長 井ノ元康夫 ・副委員 長 大塚ひとみ ・委 員 西野 朋宏・磯部 武史 小幡 憲仁・渡邊 孝	人口減少問題対策調査 7人 ・委員 長 山本 富夫 ・副委員 長 栗野 明雄 ・委 員 児玉 千明・井上 順也 釣本 音次・上尾 徳郎 廣瀬とし子
広報 6人 ・委員 長 栗野 明雄 ・副委員 長 井上 順也 ・委 員 児玉 千明・西野 朋宏 釣本 音次・小幡 憲仁	若狭消防組合議会議員…磯部 武史・西野 朋宏・井ノ元康夫 嶺南広域行政組合議会議員…栗野 明雄・山本 富夫 福井県後期高齢者医療広域連合議会議員…横田 則孝 高浜町監査委員…小幡 憲仁	

お詫び

前号、第122号の10ページ、廣瀬議員の一般質問で、「75歳以上人口が1万843人」とありますが「1605人」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

議会の傍聴に お越しく下さい ぜひ!

事前予約は不要です。
当日お越しいただくだけで傍聴できます。
次回定例会は9月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局
☎0770(72)7710



水車再生し通水式

清らかな水が回る

高浜町中寄区を流れる中津海川沿いに水車がこのほど完成、区民を中心に蝮の里くらら主催の通水式が行われました。「昔あった水車を再生したい」と、ゆるりの里くららメンバーの荒木幸作さんが一年をかけて建設に取り組んできました。区内では、区民有志による休耕田を活用した「花いっぱい村づくり」が進められてきましたが、今回の水車通水で新たな名所ができ、里山再生に向けた村づくりに一層拍車がかかることが



完成した本格的な水車

期待されています。

水車が完成したのは、山裾を走る町道南山手線の中寄区への入り口。3メートルを超す水車が回り、高さ、奥行きとも約4メートル、幅2メートルの本格的な水車小屋につながり、内部に設けられた白がばったんばったん、と音を立てています。水は川の上流部にある山の神さん横の水路から約400mのパイプで引いていきます。水車の下にはひょうたん型の池が作られ、かつて中寄の海岸に漂着したという

「雨乞いの鐘」を模した噴水が勢いよく上がっており、その背後には、花菖蒲の花が咲き乱れています。



雨乞いの鐘による噴水

荒木さんによると「当初はもう少しコンパクトな水車を再生したい、と思っていたのだが、水車本体が出来上がってみると、小屋も水車を支えられる本格的なものにしよう」となったということ、「昔、ここに水車があり子供の頃、ギーギーとまわっていた記憶があります。村人の心



通水を祝い関係者によるテープカット

の癒しの場所になってもらえれば嬉しいですよ」と語っています。

完成後、メディアで取り上げられたこともあり、町内外から多くの見物客が訪れています。若狭地区では珍しい本格的な水車を前に、皆さん懐かしい、素晴らしい、と感嘆の声をあげられています。

中寄区の里には、くららメンバーが精いっぱい世話をして育てた、花菖蒲、蓮、半夏生の花が咲いています。今回の水車が完成したことで、くらら代表の山中義和さんは「村の長老の想いを受け継ぎ、次の世代につなげたい。また町内の皆さん、お子さんにも気軽に来ていただき、昔の癒しのワールドを実感していただきたい」と話しています。

編集後記

4月には町議会選挙も行われ、新しい体制になりました。また、4人の新しい議員が誕生しました。

広報委員会にも4人とも所属して頂くことになり、これまでと違った目録での切り口で、斬新な紙面になることを期待しています。

6月議会では、中央体育館の整備をめぐる活発な議論が展開されました。議会の様子を町民の皆様に分かり易く伝えられるように努力をして参りたいと思います。

議員各位の奮闘ぶりを、皆様のお手元に届けられますように、メンバー一同努力しますので、御愛読下さいませようをお願いを致します。

文責 栗野 明雄

広報特別委員会

委員長	栗野 明雄
副委員長	井上 順也
委員	児玉 千明
	西野 朋宏
	釣本 音次
	小幡 憲仁